

講演内容について

- ・ 普遍的な感染症との向き合い方について考える機会となりました。副反応が出る人は何万分の1人かもしれないが、本人にとっては一分の一なのでその寄り添いも大切にということをお忘れずにしたいと思います。
- ・ とても分かりやすく、より広い視点で物事を養護教諭としてみていくことの必要性をあらためて感じさせられました。「人間の目線」ではなく「ウイルス目線」からのお話、とても感慨深かったです。先生のお話を聞き、「共生」という視点でまた考えて行動していく必要性を感じました。
- ・ 現在私たちは、新型コロナウイルス感染症の真ただ中にいる。社会的距離を置く三密対策などの感染症対をとることも重要であるが、新たな「近接性」を模索していくことがさらに大切である。自分に近い人やモノと親密な関係を築きたいと思う「近接性」を、地球環境問題も踏まえながら、見直し築きあげていくことが今後必要であることを学んだ。
- ・ コロナパンデミックに伴って生じる健康問題だけでなく、情報化社会が教育界に及ぼす影響や人口減少課題、世界経済や国際協調を踏まえた意識改革など、多岐にわたる内容で、大変興味深く聞かせていただきました。これらの課題は、現在も直接的また間接的に、確実に子どもたちへ何らかの影響をもたらしています。「コロナと戦う」ではなく「with コロナ」という観点から、養護教諭として、学校現場の安全管理や子どもたちへの健康課題を精査し、今後の職務に生かしていきたいと思いました。
- ・ 重症化のリスクや変異ウイルスについて、ニュースを見ていて本当に信じていいのか難しく感じていたので、今回話を聞くことができ、正しい知識を学ぶことができとてもよかった。情報があふれる現代社会ではこういった正しい知識を得るための研修時間・機会が必要だと改めて感じた。
- ・ 新型コロナウイルスについて、私たちは多方面から深く学ぶ必要があるので、勉強になりました。感染力が強いからこそ、養護教諭として正しい予防方法やウイルスの特性等、広く周知徹底していけないと感じました。with コロナとして、私たちができることを少しずつ取り組んでいきたいと思えます。
- ・ 感染症が自然環境と関係があるというのは、新しい視点であり、興味深かったです。新型コロナウイルスの流行により、学校生活も制限され、子どもも教員も苦しい思いをしています。しかし、過去にも未知のウイルスを経験することで免疫力を身につけ、現在の私たちも様々な感染症から身を守ることができているということが分かり、with コロナのこの状況は、今後も人類が命をつないでいくために必要な道のりなのかもしれないと考えさせられました。感染による被害を最小限に抑えながら、共存・共生を目指すために、学校でも引き続き感染予防対策に取り組んでいきます。
- ・ 大変参考になりました。ウイルスの目線で語られ、大変わかりやすく、考えが広がりました。そして、新たな近接性を模索すべきという提案に心が揺さぶられました。人は幼いほど、人と触れ合いながらじゃれあいながら心と体を育てていくものだと思います。ソーシャルディスタンスが生活様式に組み込まれたここ数年を過ごす子どもたちが、成長したときにどんな変容が起こるのか心配していたので、とてもこころ強いお話でした。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が何なのか、ウイルスとの向き合い方など、感染症の専門家の方からの話は、正しい知識を得ることができ、大変勉強になった。人類が今までたくさんの感染症を乗り越え、強い社会になってきたことなど知れて面白かったです。

- ・「ウイルス目線で考える」という話で、宿主である私たちと敵対を目指しているわけではないことになるほどと思いました。感染症に対する免疫を獲得することで社会全体を強くしていくためのものという意味で絶対的「悪な存在」ではないのだなあと思った。感染症に対する不安は大きいですが、こんな考え方を教えてもらってとてもよかったと思いました。
- ・根絶することが難しい中で、どのようにウイルスとつきあっていくか、子ども達にどのような力を身につけてもらえばいいだろうかと考えながら聞いていました。ワクチンには副反応が必ずあって「100万分の1、1000万分の1でも、その人にとったら1分の1」という言葉が強く印象に残っている。これからも子どもたちと一緒に考えながら感染対策をしていきたい。
- ・with コロナ、そして人間が自然の一部である限り、今後も付き合っていく新しい感染症とどう向き合っていくべきか考えさせられました。社会変革を、保健室での子ども達との関わりに視点を置き換えてみると、メンタルヘルス等の問題が著しく顕著化してきたように感じます。今までの基本、当たり前としていたことが新しいものになり、やがてそれが当たり前になっていく。過去をある程度参考にし、又新しい発想で今後直面するであろう課題と向き合っていきたいと思いました。とても興味のある講演と充実した内容で、学ぶ良い機会になりました。
- ・詳しいデータが豊富で、広い視野から新型コロナウイルスを捉えた内容であった。コロナウイルスとSARSとの違い等、比較対象の提案など、多彩な資料があった。しかしながら、視聴して思ったのは、少し難しく日常生活にどう活かしていくのか、明瞭に受け取ることができなかった。印象に残ったことは、「根絶することはできない。できないとすれば、私たちはそうしたウイルスとどう向き合うのか」校内で感染対策に気を配り継続していくことが必至と捉えた。